

## 2025年8月23日（土）～25日（月） 月山（1984m）、蔵王山（1841m）登山

涼しいかと思っていた月山の宿でもそれなりに気温が高く、クーラーを入れて寝てしまいました。翌朝5時ごろに目が覚めて外の空気を入れたら、流石にひんやりとしていて気持ちが晴れ晴れとしました。



月山神社



ニッコウキスゲ

2日目：8月24日（日）晴れ 月山登山 下山後、蔵王温泉へ移動

宿泊；国民宿舎 竜山荘

天気は晴れ、但し山の山頂辺りには少し雲がかかり、午後には雲の範囲が広がる様子でした。我々は14時位には下山出来るので、まずは一安心かと思われました。

### =思いもかけぬハプニングがありました=

宿のロビーで「吉松さん」と呼び掛けてくる人がいたのです。なんと、昨年の開聞岳山中で中島さん、吉松の2人組にバッタリと出会った長谷亭さんです。長谷さんは中島さんと懇意の元S社のかたで、「クマさん会」のホームページも時々覗いてくれています。

今回は職場の休みを取って山形、宮城県方面を一人でドライブ旅行を楽しむ計画だったそうですが、我々が月山、蔵王山登山に来ていることを知って、旅の途中で月山の宿「かしわや」にヒヨッコリ顔を出してくれました。

そんなことがあって、月山、蔵王山登山は5人で楽しむことになりました。



ひと風呂浴びて、6時30分  
「かしわや」の朝食

御飯がおいしいので食が進んだ。  
美味しいのは、山形産のお米の所為か？



写真下は、宿が準備してくれた昼食用お握り



宿は月山登山者の為に、昼食弁当と月山リフト往復券をセットにして格安で準備してくれている。食事が済んで、宿のカウンターで吉松が清算をしているところに、声を掛けて来たのが長谷さんだ。



中央が、長谷 亨さん

中島さんもびっくり仰天！

月山、蔵王山御釜にも一緒に参加してくれることになった。

今夜の蔵王温泉の宿も、お互いに近い所にとってあって、宿での一献にも顔を出してもらうことにした。



宿から月山姥沢の駐車場までは車で一本道



7時40分

「かしわや」の玄関まえで

7時50分 月山姥沢の駐車場到着

そこから10分程歩いて月山リフト下駅へ



リフトは2人乗り

かなり長いリフトで、10分以上揺られていただろうか？



足元には「アサギマダラ」が沢山飛んでいた。

調べてみると、夏から秋にかけて集まって「フジバカマ」「ヒヨドリバナ」などの蜜を好んで吸うという。

人を恐れずすぐ近くまで寄ってきた。 \*足元の花がどちらかははっきりせず。



リフトの足元には「フジバカマ」や「リンドウ」が一杯咲き誇っていた。

その「フジバカマ」の蜜を求めて、「アサギマダラ」が沢山集まっている。



8時30分

リフト上駅に到着



リフト上駅の姥ヶ岳休憩所近くでひとまず登山準備

(この休憩所は、今はトイレも使えず、やや廃屋のようだ。)



左奥の山が姥ヶ岳  
今回は通過しなかった。

8時35分 牛首下分岐に向かって移動開始。緩やかな登りで、木道も整備されていて歩きやすい。



9時5分  
牛首下分岐辺りで小休止  
今回は中島さんがタイムキーパーを務めてくれて、小まめに休止を取ってくれた。





9時25分

リフト上駅と月山山頂への距離が丁度真ん中のあたりに来た。

どちらへ行くにも 1.5 Km と書いてある。



10分程登った所には、小さいけれども雪渓が残っていた。

この辺りから少し靄（もや）が出始めた。



9時44分

牛首（1729m）到着

牛首までの登山道で、目にした沢山の高山植物



キオン



リンドウ





ヨツバシオガマ



アザミ



ヒナザクラ



ニッコウキスゲ



ハクサンイチゲ



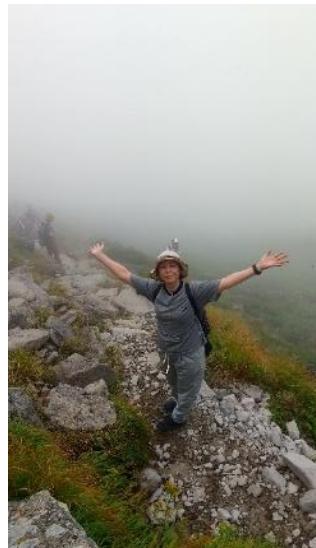
終わってしまったチングルマ

牛首から先は少しづつ傾斜が厳しくなり、足元の岩も多くなってきた。  
靄も大分増えてきて、山頂付近の様子ははっきり見えない。



10時40分すぎ

石囲いされた稻荷神社のあたりを過ぎて広場に出た。暫しの休憩を取ることにした。



終始元気だったのは二人の女性だ！！

登りではいつも先頭を歩き、この堂々たる雄姿を見よ・・・！





大休止で息を整え、再び元気が戻ってきた。

10時50分 出発

あとひと頑張りで山頂だ。

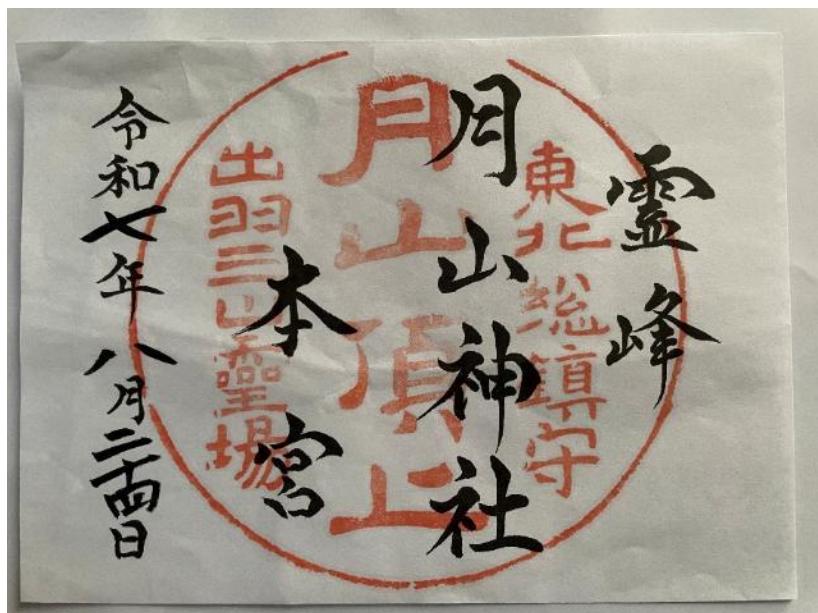


11時5分  
月山山頂 (1984m)

月山神社入口に到着  
神域に踏み込むと一切の写真撮影が許可されない。

神域ではお祓いをして、一人一人に「月山神社御祓守」をくれる (@ 500円)。

神社最奥に神殿があり、お詣りするとともに神殿を右回りにまわって沢山の神々にも手を合わせた。



御朱印にご執心の服部さんと中島さんは、  
有難く買い求めていた。

東北総鎮守  
月山頂上  
出羽三山靈場

と朱色で印が押してある。



写真撮影が許される月山神社本宮入り口で、他の登山客を待たせて急ぎ記念撮影

本宮内は大変狭く、多くの参拝者が入ってくると、我々だけがのんびり、ゆっくりもしておれない。それでも、今回の登山の目的が達成できた喜びは大きかった。

11時30分、月山神社下の風の当たらない傾斜地で、昼食をとった。  
お米が良い所為か、「かしわや」で持たせてくれたお握りは大変美味しかった。



牛首から山頂までの登山道で出会った花



ハクサンシャジン



ミヤマリンンドウ



ハクサンフーロ

あとは、登って来た時の登山道をたどって安全に下山



13時40分、予定よりは20～30分程早くリフト上駅の広場に到着した。



早い時刻だったので、下りのリフトに乗る人は少ない。



ガラガラのリフト上駅

動くリフトの上から足元の花やチョウを撮影するのは至難の業だが、上手くいった。



(リンドウ 沢山群生していた)



フジバカマと蜜を吸うアサギマダラ



リフト下駅が見えてきた。

14時

リフト下駅到着真近



リフト下駅から月山姥沢駐車場まで10分程歩く。

その間、少し激しい雨が降り出した。

リフトに腰掛けている時間帯でなくてラッキーだった。

傘もせずに、5人ともずぶ濡れになっていたところだった。

月山姥沢駐車場を後にした。

4人の乗ったレンタカーと長谷さんの真っ赤な車2台で次の温泉地「蔵王温泉」に向かった。



蔵王温泉の近くで、道の駅「やまがた蔵王」に立ち寄った。かなり規模の大きい道の駅だった。令和5年12月にオープンしたそうだ。

中島さんがチビチビ試飲をしながら、今夜の為にお酒3本を選んでくれた。

純米吟醸「辨天」

「出羽の雪」

いなほ純米「初孫」



4人が泊まった国民宿舎「龍山荘」

やけに森閑としていると不審に思ったが、蔵王のこの時期はどうやらオフシーズンらしい。

我々を迎えてくれた本日の従業員はわずかに2人(?)か?

客も10人ほど

\*長谷さんはここから歩いて50mほどの別の旅館に宿泊

他の客が居ない分だけ、のんびりできた。

風呂は貸し切り、風呂上がりの缶ビールも冷蔵庫に入っているものを勝手に取り出した。

夕食前の部屋飲みには、別の宿で汗を流した長谷さんも参加してくれた。

夕食は18時30分から

どうやら従業員二人で準備してくれているらしい。





昨日の「かしわや」の夕食とは質、量ともに比較も出来ないが、ま～お安いから良しとしよう。  
美味しく頂いた。

長谷さんは自分が泊まっている宿で夕食をとった後に、再び我々の部屋飲みに参加してくれた。



お酒は進み、会話も弾んで賑やかな時間を送った。

長谷さんも結構お酒がすすんだようだ。

缶ビール、「出羽の雪」、いなほ純米「初孫」、純米吟醸「辨天」・・・ 全部飲んでしまった。



途中から靄がかかってきたのが残念でしたが、2年越しで念願の山頂に立ち、月山神社でもお祓いをしてもらいました。

長谷さんの突然の参加があったことも、月山登山の良い思い出になりそうです。  
明日の蔵王山では、時間が遅くなれば雲が多くなりそうでした。  
コバルトブルーのお釜が見られたら、ラッキーです。